

授業科目		臨床心理学Ⅰ・Ⅱ		科目コード番号	
【担当教員名】 伊東正裕	対象学年	2	対象学科	言語	
	開講時期	後期	必修・選択	必修	
	単位数	Ⅰ・Ⅱ各1	時間数	Ⅰ・Ⅱ各15	
【概要】 対象者を援助しようとする際、対象者の心理を理解し、心理面のサポートを心がけることは不可欠である。また、自分の心理を振り返り、自己理解を深めることも対人援助者にとって大切である。 この授業では、そのための基礎となる臨床心理学の概要を把握することを第一の目標とする。また、心理検査や心理療法の学習を通して、各自が自己理解を深めることを第二の目標とする。更に、今後連携が必要となる心理臨床家の役割について理解することを第三の目標とする。					
【使用図書】					
教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他	
教科書	臨床心理学概説	馬場禮子	放送大学教育振興会	1999年・2000円	
参考書	医療現場の心理学	浮田徹嗣	マネージドケア・ジャパン	2001年・1500円	
その他配布資料	適宜、プリントを配布する。				
【評価方法】 出席・レポート・期末試験等から総合的に評価する。					
【履修上の留意点】					

## 【本科目の一般教育目標：GIO (General Instructional Objective)】

1. 対象者の心理を理解し、効果的に援助するために、臨床心理学の概要を把握する。
2. 援助を適切に行うために、自己の心理について理解を深める。
3. 職種間の連携を図るために、さまざまな領域における心理臨床家の役割について理解する。

## 【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】

1. 臨床心理学の定義・対象領域・内容・歴史について説明できる。
2. 臨床心理学の理論的背景について概説できる。
3. 臨床心理アセスメントの目的・方法について説明できる。
4. 心理面接によるアセスメントの流れや注意点について説明できる。
5. 心理検査によるアセスメントについて説明し、主な心理検査を挙げ、その特徴や使用法を述べることができる。
6. 医療福祉領域における心理学的援助や心理療法の位置づけについて説明できる。
7. 主な心理療法を挙げ、その歴史・原理・方法について概説できる。
8. 臨床心理学的地域援助の方法と対象領域・内容について説明できる。
9. 自己の心理を振り返り、その特徴について話し合うことができる。
10. 医療福祉領域における臨床心理学の知見の活用について討議することができる。
11. 医療福祉領域における心理臨床家の役割について説明し、実際の連携のために必要な事項について討議することができる。

# 授業計画

教室 \_\_\_\_\_

回数	授業内容	SBO 番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	臨床心理学とは何か 臨床心理学の定義・対象領域・内容・歴史	1	伊東正裕	講義	プリント
2	臨床心理学の理論的背景（1） 心理学の諸領域	2	同上	同上	同上
3	臨床心理学の理論的背景（2） 精神分析と分析心理学	2	同上	同上	同上
4	臨床心理アセスメント（1） 臨床心理アセスメントの目的・方法 心理面接によるアセスメント	3、4	同上	講義	同上
5	臨床心理アセスメント（2） 心理検査の原理と適用 知能検査・質問紙法人格検査	5、9	同上	講義 実習	同上
6	臨床心理アセスメント（3） 投影法人格検査	5、9	同上	講義 実習	同上
7	心理療法（1） 心理学的援助と心理療法	6	同上	講義	同上
8	心理療法（2） 精神分析療法	7、9	同上	講義 実習	同上
9	心理療法（3） ユング派の心理療法	7、9	同上	講義 実習	同上
10	心理療法（4） クライエント中心療法	7、9	同上	講義 実習	同上
11	心理療法（5） 森田療法と内観療法	7、9	同上	講義 実習	同上
12	臨床心理学的地域援助 危機介入とコンサルテーション	8	同上	講義	同上
13	医療保健領域における臨床心理学 医療保健領域における心理臨床の実際 医療保健領域における臨床心理学の活用	10、11	同上	講義 討議	同上
14	福祉領域における臨床心理学 福祉領域における心理臨床の実際 福祉領域における臨床心理学の活用	10、11	同上	講義 討議	同上

その他